



ジャガー・ルクルトは、希少なクラフトマンシップ
“**Métiers Rares**” のアトリエで製作された
エナメル装飾のレベルソにより、
フェルディナント・ホドラーにオマージュを捧げます

2018年、ジャガー・ルクルトは新たな3本のレベルソによって、自らの希少なクラフトマンシップ (Métiers Rares) に再び焦点をあてます。各モデルの両面には、スイスの巨匠フェルディナント・ホドラーの作品が、特別なエングレービングとエナメル装飾による細密画として再現されています。

ホドラーの没後100周年を記念し、ジャガー・ルクルトではレベルソ・トリビュート・エナメルのケース装飾に、彼の作品の代名詞である山や湖のモチーフを採用しました。この腕時計はアールデコ様式を踏襲し、特別に制作されたホワイトゴールド製ケースは、エナメル装飾を引き立てるキャンバスとなっています。

3モデルはそれぞれ世界で8個の限定生産です。

ジャガー・ルクルトの希少なクラフトマンシップ “**Métiers Rares**” が、
フェルディナント・ホドラーにオマージュを捧ぐ

作品の前面には、精緻なギョーシェ彫りが施されています。ジャガー・ルクルトのギョーシェ職人は1世紀も前に作られた機械を使用し、高度な技術と豊かな経験を駆使してダイヤルに装飾を施しました。ここでは、ダイヤルの小さな菱形があたかも織り込まれているかのような印象で、作品に精緻で洗練された雰囲気をもたらせ、次にエングレービングを透明エナメルで覆います。このエナメルの色も裏面の細密画と完璧に調和するように厳選されたものです。

さらに、職人の手作業によるエングレービングは腕時計の裏側へと続き、そのラインはエナメル装飾による細密画を引き立てる優美なフレームのような役割を果たしています。こうした装飾は手作業であるからこそ一つとして同じものがなく、この細密画を際立たせると同時にレベルソの代名詞である3つのゴドロンとも巧く調和しています。

グラン・フーエナメルによる芸術作品

レベルソ・トリビュート・エナメルは、フェルディナント・ホドラーの傑作にインスピレーションを得ています。ホドラー作品ならではの圧倒的な静寂を再現するよう、エナメル職人は腕時計1本に50時間を超える時間をかけ、巨匠の芸術を可能な限り忠実に再現しました。

こうした作業は、ジャガー・ルクルトのエナメル職人にとっても非常に難しい挑戦であったことは言うまでもありません。最大の難関は、大きな原画を3cmほどしかないレベルソの表面に再現することでした。



『Lake Geneva with Mont Blanc in the Morning Light／早朝のレマン湖とモンブラン』

(1918年、74 x 150 cm)

この油絵作品の再現の要は原画と全く同じピンクとゴールドによる朝陽を再現することで、大変な労力を要しました。時計の前面には細密画の色調に巧く調和するように極めて繊細なライトグレーを採用。この絵は繊細な色調によって光の戯れを表現することで、空と湖が溶け合うような平穏と静寂に包まれた情景が描かれています。

『Lake Thun with Symmetric Reflections Before Sunrise／夜明け前のトゥーン湖と対象の反射』

(1904年、89 x 100 cm)

この絵はより明るい色調で情景が描かれており、職人は山の輪郭を描き出すブルーを再現することに注力しました。とりわけ、手前にグリーンを石を描くことで水の透明度を強調した技法は実に素晴らしく、エナメル職人はここから着想を得て、ダイヤルの前面の装飾にパイングリーンを採用しました。対称美を表現したフェルディナント・ホドラーの典型的な作品が、エナメル装飾によって忠実に再現されています。

『Lake Thun, Symmetric Reflection／トゥーン湖、対象の反射』

(1909年、67.5 x 92 cm)

3作目は光を捉えて水面に反射するアルプス山脈を描いています。この作品では、ミラー効果と穏やかなブルーとホワイトでジュウ湖の静けさが表現されています。ギョーシェ装飾の上からは明るいスカイブルーの透明エナメルが施されています。

アールデコのアイコンが巨匠の作品を引き立てる

レベルソ・トリビュート・エナメルは、アールデコ様式の象徴的なコードと、植字されファセットカットを施したインデックス、ドーフィン針、ダイヤル中央にレールウェイミニツトラックを備え、希少なクラフトマンシップ (Métiers Rares) を備えたエナメル職人の作品を収めるにふさわしい、独創的かつ洗練されたキャンバスとなっています。こうしたスタイルは、マニファクチュール ジャガー・ルクルトによるエナメル装飾付きのレベルソ ウォッチの伝統を踏襲しています。フェルディナント・ホドラーに捧げられた3つの新作モデルは、芸術愛好家の人々をも魅了するでしょう。さらに、この作品は希少なクラフトマンシップ (Métiers Rares) のマニファクチュールに宿る、貴重なサヴォアフェール(ノウハウ)を物語り、芸術や文化に対するジャガー・ルクルトの傾倒を表現しています。

2018年、スイスを代表する画家フェルディナント・ホドラー(1853年 - 1918年)を讃えて

フェルディナント・ホドラーが1918年にジュネーブで死去してから今年で100年を迎え、アート業界、とりわけスイスの主要な美術館では、スイスを象徴する巨匠画家を讃える企画が展開されます。

ジャガー・ルクルトもまた、1833年に創業を開始した地であるジュウ溪谷を想起させるスイスの湖や山々を描いたスイス人芸術家にオマージュを捧げます。フェルディナント・ホドラーは、パラレリズムを駆使して風景を描き出すことで、自然の秩序に対する自らのビジョンを示しました。その作品は、世界をすっきりとシンプルに表現するという普遍的な特質を共有しています。



マニュファクチュール ジャガー・ルクルト

1833年にスイスのジュウ渓谷で創業以来、マニュファクチュールとして、キャリバーからケースに至るまで、それぞれの作品のデザイン、製作、組立てまで、すべての工程を、当社の時計職人たちが行っております。作業には創造力、専心、決意、勇気を要します。時間と手間を惜しまず、未来に生きるタイムピースの姿を見据えること。それが巧の技の神髄です。

www.jaeger-lecoultre.com